

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和57年度	
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名		02 市民会館運営事業	
根拠法令・例規等		備前市立日生市民会館設置条例	
問		担当課(室)	日生市民会館
合		職・氏名	副参事 植田 学
先		電話	0869-72-1006
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市民及びこの施設の使用を希望する人
目的(何のために)	市民が生活する上で、文化及び教養に触れて生きがいを感じるための場所と機会を提供すること及び会議・集会等で使用したい人に場所を提供すること等を目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が心豊かに生活するため、趣味娯楽のほかに教養を深めることが不可欠であり、この事業はその場と機会を提供するためにつくられたもので、これにより市民が健康で生きがいを持った人生をおくれる成果を得ようとしている。

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	市民会館管理運営事業	市民会館の各施設(ホール、初1、2・3階会議室、講座室、音楽室、調理実習室等)をいつでも利用できる状態に管理して整えておき、利用者に快適に利用していただく。平成21年度の利用者総数は18,670人でその内、有料は4,590人で無料は14,080人。	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		9,151	8,901	12,900	
	必要人員(人件費)	千円	1.25人	9,951	0.94人	9,341
	事業費計		19,102	18,242	22,996	
	国県支出金					
	受益者負担		818	1,009	655	
	繰入金	千円				
その他()		49	78	80		
一般財源		18,235	17,155	22,261		
受益者負担比率	%	4.3%	5.5%	2.8%		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	説明	市民会館年間施設利用者数の年度別増減				
	結果指標量	人	24,942	19,668	18,670	
	対前年比	%	103.4%	78.9%	94.9%	
	活動コスト	円	19,102,000	18,242,000	23,935,000	
単位当たりコスト		766	927	1,282		

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
市民会館年間施設利用者数	目標値(A)	23000	25000	20000	20000	
	実績値(B)	24942	19668	18670	到達目標値	
	達成率(B/A)	108.44%	78.67%	93.35%	95%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市民会館の利用状況を現すには、年度ごとの延べ利用者数が最適であると考えられ、成果指標とした。景気低迷のため最近はやっくり減少の傾向である。						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C

留意事項のなから有数の値目標を成り下ろさずに行うこと

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	日生地域の文化活動の拠点として運営してきたが、27年が過ぎるにつれて老朽化が進み、毎年多額の修繕料が必要となっている。中でもホール部分のウエイトが高く、将来的には修繕を行わず、ホールだけは市民センターで行うようにすれば維持管理費が少なくなる。他の施設は現状のまま使用していく。					

総合評価	
規模を縮小してでも、市が運営せざるを得ないが、維持管理費の削減と受益者負担を50%程度徴収できるよう減免や認定の基準を見直し、料金改定も行う必要がある。	評価区分 <A-E> C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	当面は現状維持となるが、将来的には類似施設は統廃合すべきもので、使用料については他施設を参考にして見直し適正な受益者負担を設定していきたい。					